

最新鋭護衛艦「もがみ」の体験航海 県内唯一の水産・海洋系高校の生徒が参加



参加した高校生 2 名



笑顔で乗艦

自衛隊神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長阿部勤3等海佐）は、5月25日（日）に行われた最新鋭の護衛艦「もがみ」の体験航海に参加者を引率した。

今回参加したのは、県内唯一の水産・海洋に関するスペシャリストを育成する神奈川県立海洋科学高等学校で学ぶ2年生の2人。両名は船舶運航科に所属し、3年生になると大型実習船による約2カ月間の遠洋航海に参加して実際にマグロ延縄漁業なども体験する。2人ともすでに2級小型船舶免許を取得しており、将来は船舶の運航に携わる職業を目指している。

当日は天候にも恵まれ、千葉港京葉埠頭（千葉県船橋市）から海上自衛隊横須賀基地（神奈川県横須賀市）までの約4時間の体験航海を楽しんだ。生徒たちは「実際に乗ってみて機関の音が小さいと感じる」、「最新鋭の計器類が装備され航海しやすそうだ」、「今回は本当に凄いものを間近で見ることができて感謝の気持ちしかありません」などと感想を話してくれた。

横須賀地域事務所は「今後も関係機関と連携し、若者の進路支援と自衛隊への理解促進に向けた広報活動に積極的に取り組んでいく」としている。



出港



体験航海終了後に記念撮影